

【牟岐町 1人1台端末の利活用に係る計画】

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

令和3年の中央教育審議会答申「「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」に示されている「個別最適な学び」及び「協働的な学び」を一体的に充実させ、牟岐町教育大綱で掲げる基本理念「学びつながり、夢あふれる生涯学習のまち“牟岐”」を実現するため、ICT環境を積極的に活用し、学習機会の拡充と学習内容の充実を図ります。

2. GIGA第1期の総括

GIGAスクール構想の実現に向けて、タブレット端末や校内通信ネットワークの整備を行った。また、デジタル教科書やドリル教材のアプリケーションなどタブレット端末を用いて活用できる教材も整備し、学校現場においてICTを活用できる環境を整えた。

また児童生徒のタブレット端末への関心、順応性は非常に高く、授業中での調べ学習、課外活動に活用できている。しかし、授業での活用、タブレットの持ち帰り学習など文部科学省が目標としている「1人1台端末の文房具化」には程遠い状況である。

3. 1人1台端末の利活用方策

①「1人1台端末の積極的活用」

教育支援アプリや、デジタル教科書を用いて、児童生徒の授業の学習意欲を高め、積極的に端末の活用を推進し、インターネット環境の様々な情報から、必要な正しい情報を得る能力や、知り得た情報を活用する能力を培えるような環境を整える。

また端末の活用を進めるにあたっては学校だけではなく家庭での使い方も非常に重要であるため、情報モラルについて周知啓発を行う。

②「個別最適・協働的な学びの充実」

タブレット端末の活用により、児童・生徒の学習の進捗状況や理解度を個別に把握し、個人の能力を十分に発揮できるよう一人一台端末を活用する。また、学習用アプリの活用、アンケートなどを授業内で実施し、アンケート結果の共有や自身の考えだけでなく、他者の考えに触れることで協働的な学びを深めていく。

③「学びの保障」

1人1台端末を維持するため、端末が故障・不具合を起こした場合に備えて、予備機の運用を可能とし、学習の機会が失われない体制を整える。また不登校、体調不良等で授業に参加することが出来ない児童・生徒についても、タブレット端末を利活用することで学びの保障ができる環境を整備していきます。

以上の取組を実施していくため、1人1台端末は必要不可欠であり、GIGA第2期において、1人1台端末の更新を行い、魅力ある学習環境の充実を図っていく。